



(題字は 田中八尾市長)

発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
向井正雄
八尾市高美町5-3-4
TEL(072)992-0119
FAX(072)992-7722
H29-79



🌸 平成29年度消防団員任命式を挙行

平成29年3月31日(金)、消防本部1階研修場において、田中市長をはじめ、重松市議会議員、また、新団員の選出にご尽力いただいた各地区の役員の方々にもご出席をいただき、平成29年度消防団員任命式が盛大に挙行されました。

任命式は、田中市長の挨拶に始まり、長年にわたり八尾市消防団で活躍され、平成29年3月末で勇退される退団者に対して、田中市長、向井団長、藤原消防長より感謝状が贈呈されました。

次に、向井団長から八尾市消防団の新戦力となる26名の新団員及び幹部に昇任された41名の団員に対して辞令が交付され、その後、「市民の安全・安心を守るため、施設、装備の充実と処遇改善に努め、地域に密着した魅力ある消防団を目指していく」との訓示をいただきました。

式典の最後に、新団員を代表して、団本部の川西団員が力強い「宣誓の言葉」を向井団長に誓い閉式となりました。

今後八尾市消防団は一致団結し、市民の安全・安心を守るため、日々の消防団活動に尽力していきます。

◆(山本分団 西尾 和哉)

消防団員任命式

平成29年3月31日(金) 消防団

員の任命式が挙行され、26名の新団員が誕生しました。新団員の皆さんにこれからの抱負について伺いました。

氏名(所属)
①職業
②趣味
③抱負



川西 慶 (団本部)

①学生
②バスケットボール
③至らぬところもあると思いますが、明るく元気に頑張りたいと思います。



堂田 隆治 (久宝寺)

①自動車整備士・販売
②ゴルフ・ドラム
③生まれも育ちも久宝寺。諸先輩方の指導のもと、地元のために貢献できるように精いっぱい頑張ります。



西川 尊之 (龍華)

①弁当屋
②スポーツ全般
③地域を守る消防団員として、一日でも早く先輩方に追いつき成長していきたいです。



宮原 雄真 (曙川)

①家具製造業
②アウトドア(キャンプ)
③地域の皆様がより安全に安心して暮らせるように、また諸先輩方に追いつくため訓練に励もうと思います。



磯山 拓良 (南高安)

①教員
②野球・ゴルフ
③消防団員として、真獻できるように訓練に励み、一日でも早く先輩方に追いつけるように頑張ります。



高田 尚寛 (南高安)

①会社員
②車・バイク
③如何なる時にも安全最優先で考え訓練に励み、先輩方の手助けができるよう頑張ります。



東出 友和 (南高安)

①システムエンジニア
②ラグビー
③一日でも早く技術を学び、消防団員として、しっかりと活動できるように頑張っていきます。



魚住 陽平 (南高安)

①信用金庫職員
②フットサル
③一日でも早く、諸先輩方のような地元を守る消防団員になれるように、頑張ります。



山下 貴弘 (南高安)

①自動車整備士
②野球観戦
③地域の安全のため、早く技術を身に付け、地域に貢献できるように、頑張っていきます。



吉田 健一 (南高安)

①会社員
②ゴルフ
③自分の住んでいる地域を自分で守れることを誇りに思い、早く一人前になるため、頑張ります。



安岡 大輔 (南高安)

①自営業
②ゴルフ
③生まれ育った村で、消防団員になれたことをうれしく思います。早く一人前になって地域を守っていきます。



坂上 昌弘 (南高安)

①福祉関係
②音楽鑑賞
③一日でも早く地域に貢献できる消防団員として、諸先輩方のご指導のもと、頑張っていくしたいと思います。



植田 哲史 (南高安)

①会社員
②ゲーム
③消防団員としての自覚を持ち、技術を身に付け、地域を守ります。



清水 玄 (高安)

①調理員
②DIY
③自分のできることは徹々とやるのですが、少しでも力になれるよう、消防団の仕事を感じていきます。



奥野 義剛 (高安)

①販売業
②ドライブ
③地域の安全に貢献できるように頑張ります。



野口 友哉 (高安)

①造園業
②読書
③地域の安全を守るため、先輩方のアドバイスを聞き、早く一人前の消防団員になりたいと思います。



貴島 孝浩 (高安)

①介護支援専門員
②スポーツ鑑賞
③消防団員として努力・精進し頑張ることで、生まれ育ったこの地域を守っていききたいと思います。



竹本 亮太 (高安)

①造園業
②ゲーム
③地域を守る消防団員として、一日でも早く諸先輩方に追いつけるように頑張ります。



樋口 祐也 (高安)

①映画鑑賞
②映画鑑賞
③消防団員として地域の人の信頼を得て、緊急時に活躍できるように頑張ります。



乾力也 (高安)

①造園業
②バスケットボール
③地域の安全を守り、先輩方を見習って早く仕事を覚えて、消防団員として役立つように頑張ります。



袖川 良輔 (山本)

①型枠大工
②野球
③消防団に入団する事にとまどいもありますが早く一人前になれるよう頑張ります。



木村 勇希 (山本)

①会社員
②DIY
③地域を守る消防団員として知識をキツリと身につけて頑張ります。



岩崎 裕司 (山本)

①会社員
②野球
③初めての経験のことが多く、全て素直に、楽しく、真面目に取り組んでいきたいと思っています。



田村 五一 (志紀)

①職人
②釣り
③地域を守る消防団員として、地域に貢献できるように、早く一人前になりたいと思います。



及川 将洋 (志紀)

①自営業
②沖繩旅行
③消防、防災における技術や知識を習得し、地域の安全と安心のために頑張ります。



宇山 義彦 (志紀)

①運転手
②ソフトボール
③向上心を持って、地域のために少しでもお役にたてるように、頑張りたいと思います。

消防団基礎(初任)教育訓練



平成29年5月21日(日)、大阪府立消防学校で行われた基礎教育訓練に参加しました。

当日は、基本動作となる規律訓練や放水訓練を行いました。

放水訓練ではホース、筒先搬送等を学び、補助者とともに基本注水姿勢での水圧の凄さを体験しました。

講習を受けるまでは、消防団に入ったものの消火活動の経験も無く実感が湧かずに過ごしていましたが、実技でのホースの延長訓練、放水訓練をするうちに、「私も現場に出た時にはそつなくこなして

みせる」という気持ちが高まるようになっていきました。

まだまだ、最初の一步を踏み出したところで、先輩方には及ばない事が多々ありますが、せめて気持ちだけでも消防団という地域防災の担い手の一員として活動していきたいと思っています。

◆(山本分団 岩崎 裕司)

恩智川水防訓練

平成29年4月22日(土)、東大阪市花園中央公園で恩智川の水位上昇を想定した水防訓練が実施されました。

今回は、南西方面隊から40名の団員が参加し、せき板工法を実施しました。

この工法は、洪水により水が堤防を越えそうな時に実施する工法で、杭で固定した板の間に土のうと土砂を入れて強度を高め、越水を防ぐものです。

土のう作りと杭打ちの2班にわかれ実施しました。

杭を打ち込み、板を張り番線で固定する作業では足場が固いせいかなかなか杭が入らず苦労しました。

訓練時はあらかじめ用意された

資機材を使用して対応できませんが、実際の状況ではそれらが全て揃っているとは限りません。

また、足場も不安定で思うように作業が進まないかもしれません。その様な状況でも冷静な判断が必要になります。

今回の訓練を経験したことにより、実災害でどの様に行動すればいいのかを学びました。

今回の訓練で学んだ事は消防団員としてレベルアップにつながりました。

この経験を参加できなかった団員にも教養していき、災害時の被害の軽減に努めたいと思います。

◆(志紀分団 森本 寿)



ポンプ取扱い訓練実施



曙川分団では、独自で定期的なポンプ取扱訓練を行っています。

これまで曙川分団は、揚水訓練を実施する機会が少なかったのですが、ここ数年は、メンバーの入れ替えや、新団員も増えてきた事もあり、技術団員を中心に定期的な揚水訓練を実施しています。

しかし分団の中でもポンプの操作技術や知識にまだまだ差があるのが現状です。

今年度から新体制になったこともあり、分団長及び副分団長指示の下、訓練を積み重ね、新人教育と全体的なレベルの底上げが図れるよう意識改革をしていきます。

◆(曙川分団 久保 元伸)

防災リーダー育成研修会



平成29年5月20日(土)、八尾市立南木の本防災公園において、各自主防災組織で活動されている防災リーダー55名が参加する防災リーダー育成研修会が開催されました。

この研修会に久宝寺分団から6名の団員が、可搬ポンプ取扱い指導のため参加いたしました。

開会式から始まり、各自主防災組織の地域内に設置されている小型動力ポンプの取扱い訓練や放水訓練、また、倒壊家屋からの救出救護訓練等も実施されました。

放水訓練では、実際に筒先を持ってもらい、水圧の強さを体験

していただきました。

時折、水圧に耐えられない方もいらつしやいましたが、参加者全員が真剣な面持ちで訓練に参加され、防災意識の高さを感じました。我々消防団員もサポートすることで、良い経験をさせていただき、何より無事に参加者全員が怪我も無く研修会を終えることができました。

最後に、今回の研修会で知り得た知識、技術をそれぞれの自主防災組織に持ち帰り、市民同士で共有していただき、今年より来年、再来年へとステップアップしていただきたいと思います。

◆(久宝寺分団 奥村 貴司)



龍華地区自主防災訓練



平成29年5月28日(日)、北亀井町公園で龍華地区の自主防災訓練が実施されました。

当日は天候も良く気温が上がる中、消防署亀井出張所職員指導のもと、龍華分団員も参加して、地域の役員さんをはじめ、自主防災組織の皆さんに対し、自主防災組織の可搬ポンプを使用したポンプ取扱い訓練を行いました。

可搬ポンプの使用手順から実際の放水までを何度も何度も繰り返し訓練をしました。

皆さんが汗を流しながらお互いに大きな声を掛け合い、一連の動

作ができるまで真剣に取り組み姿を見てみると、「自分たちもこの地域を守るんだ」という強い気持ちが伝わってきました。

この自主防災訓練を通して、私達消防団員も、一致団結して活動に取り組むことの大切さを再認識することができました。

今後の活動に向けて更に訓練を積んでいき、最大限の尽力を注ぎたいと思います。

◆(龍華分団 西田 寿)



普通救命講習を実施



平成29年7月9日(日)、陽卉会館で普通救命講習が行われました。

この講習は南高安分団が3年に一度実施している講習で今回は、女性団員から4名の指導員と1名の受講を含め計51名の参加となり、「1、2、3・・・」とリズムのよい掛け声が部屋の数力所から大きく響いて緊張感のある雰囲気でした。

新入団員は自動車免許取得時以来、また、我々に関しては三年振りという事もあり、普段は笑顔が多く和やかな団員も何時になく真剣な表情でした。

講習は、DVD視聴後に訓練用人形を使用した実践訓練で、心

肺蘇生法とAEDの使用について、数グループに分かれて実施しました。

冷房の効いている部屋でしたが、参加した団員は汗を流し懸命に取り組んでいました。

消防団の活動といえば消火活動が一番に思い浮かびますが、最近では豪雨による土砂災害や地震時における対応など多岐にわたるものが市民からは求められています。必要に迫られた際、今回学んだ技術を行う事も消防団活動の一つと考えています。

講習の終了間際に、歴任された分団長が団員に伝えられた言葉を皆が思い出しました。

「消防団員として、様々な技術を習得、必要に応じてやるべき事はやる。」という言葉を。

◆(南高安分団 浅井 孝二)



高安ふれあい祭警戒警備



平成29年8月5日(土)、高安少年団ふれあい祭りが、メイン会場となる高安小学校で開催されました。

グラウンドでは、中学生が主となり地域の方と協力しながら模擬店を運営しており、フランクフルトやかき氷等の食べ物をはじめ、金魚すくい、輪投げ、ストラックアウト等、色々なお店があり、多くの来場者で賑わっていました。グラウンド中央には、リングが設置され、プロレスラーの方々によるエキシビションマッチが行われ、間近で見るプロレスに子供達は大興奮でした。

そんな中、私達消防団は、会場駐車場及び場内の警備の任務に就き、来場者の安全確保に務めなが

ら、暑い中地域の子どものため

に頑張っている中学生にもエールを送りました。私達消防団員も、元気な中学生に負けないよう、地域の方々のふれあいを大切に、顔の見える関係を構築し、有事の際にはこの繋がりが中心となり安全・安心な街づくりにも貢献できるように、今後の消防団活動にも活かしていきたいと思えます。

◆(高安分団 増田 卓司)



木村長門之守重成公 祭礼を開催

平成 29 年 6 月 3 日 (土)、午前 11 時、6 月 5 日 (月) 午後 5 時より幸第一公園にて木村長門之守重成公祭礼が行われました。

今回は、3 日に祭礼、5 日にはお囃子 (はやし) と夜店が催され、内容が一部変更されました。

祭礼につきましては、地域の皆様や、各諸団体、関係者等を招き例年通りそれぞれ御参拝いただきました。

今年も祭礼には、大阪上本町を拠点に大阪城などで活躍している『大阪甲冑隊』のメンバーにもボランティアで参加していただき、お参りいただきました。

5 日は午後 5 時から、お囃子グループの「祭華 (さいか)」が日頃の練習を披露して頂きました。祭華は、地車と天神囃子を伝えていきたいと地元青年団を中心に木村長門之守重成公祭礼のために結成されたグループです。

入梅の夜を、天神囃子の音色が響きわたり、地域の子供達や大人まで夜のお店で和やかに賑わっていました。

◆ (西郡分団) 澤田 広二



河内音頭まつり警戒警備

平成 29 年 9 月 9 日 (土)、10 日 (日)、久宝寺緑地陸上競技場をメイン会場として、第 40 回八尾河内音頭まつりが開催されました。

今年の八尾河内音頭まつりは、40 回目の記念開催ということで、二日間にわたり様々なイベントが行われました。

9 日は、なんとと言っても最多人数で踊る盆踊りの世界一に挑戦として、ギネス世界記録更新に挑みました。

これまでの世界記録は宮崎県延岡市が今年の 7 月に樹立した 2,748 人



八尾音頭まつり

でした。
ギネス世界記録への挑戦は、2,819 人が参加して行われ、振り付けを間違えるなど 19 人の失格者を出したものの、見事 2,812 人が認定され、最多人数で踊る盆踊りギネス世界記録の更新となりました。
河内音頭発祥の地である八尾が一致団結し、世界記録を樹立したことは、とても喜ばしいことだと思います。
10 日には、ふれあい広場 (軟式野球場) で、小・中校生によるダンスコンテストが実施され、子供たちの元気いっぱいダンスが披露されました

また、同広場でプロレスイベントが行われ、プロの迫力あるパフォーマンスを見た観客は大盛り上がりでした。

二日間にわたる開催で、例年よりも多くの方々が来場したにも関わらず、4 件の救急搬送者はでたものの、大きな事故等もなく無事に終了することができました。

今回、警備に参加した本部の皆様、各分団の皆様、暑い中そして大きなイベントでの警備、本当にご苦労様でした。

◆ (八尾分団) 影中 義和)



団幹部視察研修



平成29年6月27日(火)、消防団幹部視察研修のため、兵庫県淡路市にある北淡震災記念公園を視察しました。

この記念公園は、六甲・淡路島断層帯の活動により平成7年に発生した、阪神・淡路大震災の原因であり、その構成断層のひとつである野島断層が横ずれし、変位した断層面が地表に露出した場所で、その一部を保存しており、平成10年から一般公開されています。

他にも、当時、神戸市長田区にあった通称「神戸の壁」や、実際

に断層付近で被災した住宅も当時のままで保存されており、震災の凄まじさを痛感しました。

今回の視察研修を終え、近年、南海トラフ地震が危惧されおり、いつ八尾市でも地震が発生するかわかりません。

発災時には消防団員として何ができるか、何をすべきか等を日々イメージし、知り得た知識を少しでも発揮し、地域住民の安全を少しでも守れるよう今後も団員に伝え共有していきたいと考えます。

◆(大正分団 乾 和仁)



中河内地区支部 消防総合訓練



平成29年7月23日(日)、大阪府中部広域防災拠点で、大阪府消防協会中河内地区支部消防総合訓練が挙行されました。

今年度は、東大阪市消防団が小型ポンプ操法、柏原市消防団がポンプ車操法の訓練を披露しました。訓練では、総指揮者をはじめ選手隊、団旗隊、徒歩部隊、車両部隊による分列行進や各訓練披露、中河内支部長から優良団員に贈られる表彰式等が行なわれました。

そんな中、私達、八尾市消防団員に対して、「大きな声で節度も

あり、大変すばらしかった。」と規律動作において、他市の消防関係者及び来賓者から称賛されていたと後に聞きました。

今まで続けてきた訓練が実った瞬間でもあり、私達にとっても大変喜ばしく、八尾市消防団員として十分に結果を残せた総合訓練だったと感じました。

今後とも誰から見られても恥じる事がないよう常に動ける消防団員として、また、自分達の地域を安心して任せられる消防団員としてこれからも日々の訓練に励みたいと感じました。

◆(龍華分団 中東 正行)



岡山県新見市消防団の幹部視察研修



平成29年6月17日(土)、岡山県新見市消防団の分部(わけべ)団長をはじめ幹部の方々21名と、事務局から2名の総勢23名の方々が八尾市へ視察研修に訪れ、八尾市からは、向井団長をはじめ消防団幹部11名で歓迎し、八尾市消防本部1階研修場において、意見交換会が行われました。

研修は、主に次の5つの項目について両市事務局が説明を実施した後、両市消防団による意見交換が行われました。
①消防団概要
②活動状況

- ③ 団員確保への取り組み
- ④ 装備品の整備・貸与品について
- ⑤ 活性化や訓練の取り組み

その他にも出動手当のことや消防団サポート制度のこと、また、新見市消防団にはラップパ隊があり、各イベントで演奏し、消防団のPR、火災予防広報活動を行っていることなど、両市消防団の違いに驚きと関心を抱く中、今後多様化する災害に対する危機感や、消防団員の確保の難しさなど、消防団として多くの共通点があることも再認識でき、とても充実した内容の研修でした。

◆(高安分団 清水 宏祐)



女性団員が分団の普通救命講習を実施

平成29年7月9日(日)、陽卉会館において、南高安分団46名と今年入団した女性団員1名に対し行われた普通救命講習に、応急手当指導員として女性団員4名が参加しました。

「救命の連鎖」主に心停止の早期認識と一次救命処置の重要性についてビデオ視聴した後、要救助者の発見から状態確認、通報、心肺蘇生とAEDの取扱い、救急隊に引き継ぐまでの一連の動作を一人ずつ繰り返し実施していただきました。

南高安分団は、定期的に講習を受けているため、皆さん大変段取りよく体得されていました。



これからも多くの方に習得していただくため、女性団員一同勤しんでまいります。
◆(本部分団 鳥羽 由紀)



◎ 広報部員名簿 ◎

委員長	高安分団	清水 宏祐
副委員長	龍華分団	中東 正哉
委員	山本分団	西尾 和哉
	久宝寺分団	後根 健一
	西郡分団	奥村 貴司
	八尾分団	影田 義和
	龍華分団	澤田 廣二
	大正分団	西尾 義和
	曙川分団	森口 正一
	南高安分団	佐々木 智明
	山本分団	北井 元之
	高安分団	浅井 孝史
	山本分団	増田 孝一
	志紀分団	森本 誠一